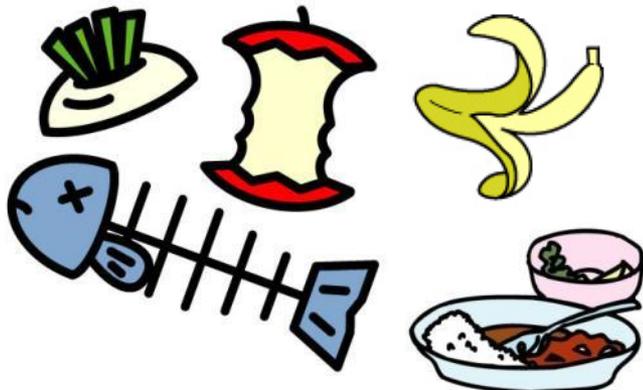


可燃ごみを資源化して
減らそう！



八王子市におけるごみの現状と 生ごみ資源化の取り組み



八王子市資源循環部

1. 八王子市のごみの現状

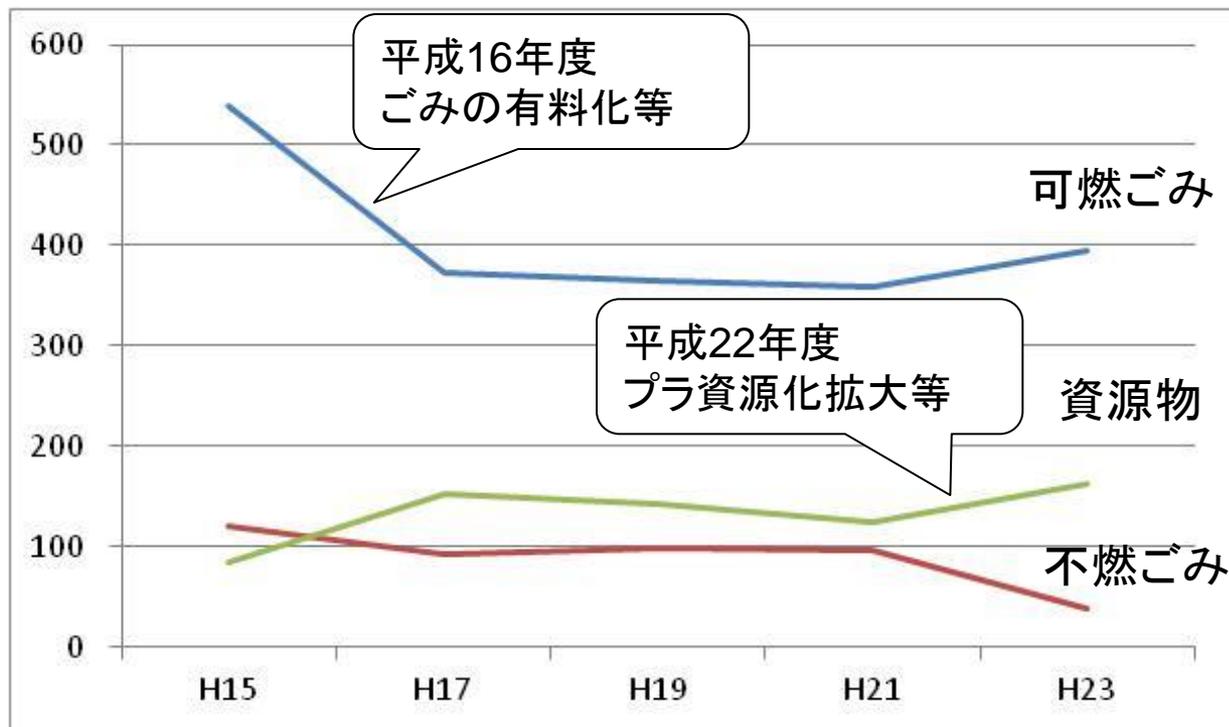
2. 生ごみ資源化モデル事業について

3. 平成26年度の取り組みと今後の課題

八王子市におけるごみの現状

家庭系可燃・不燃ごみ、資源物量

ごみ量(g/人・日)



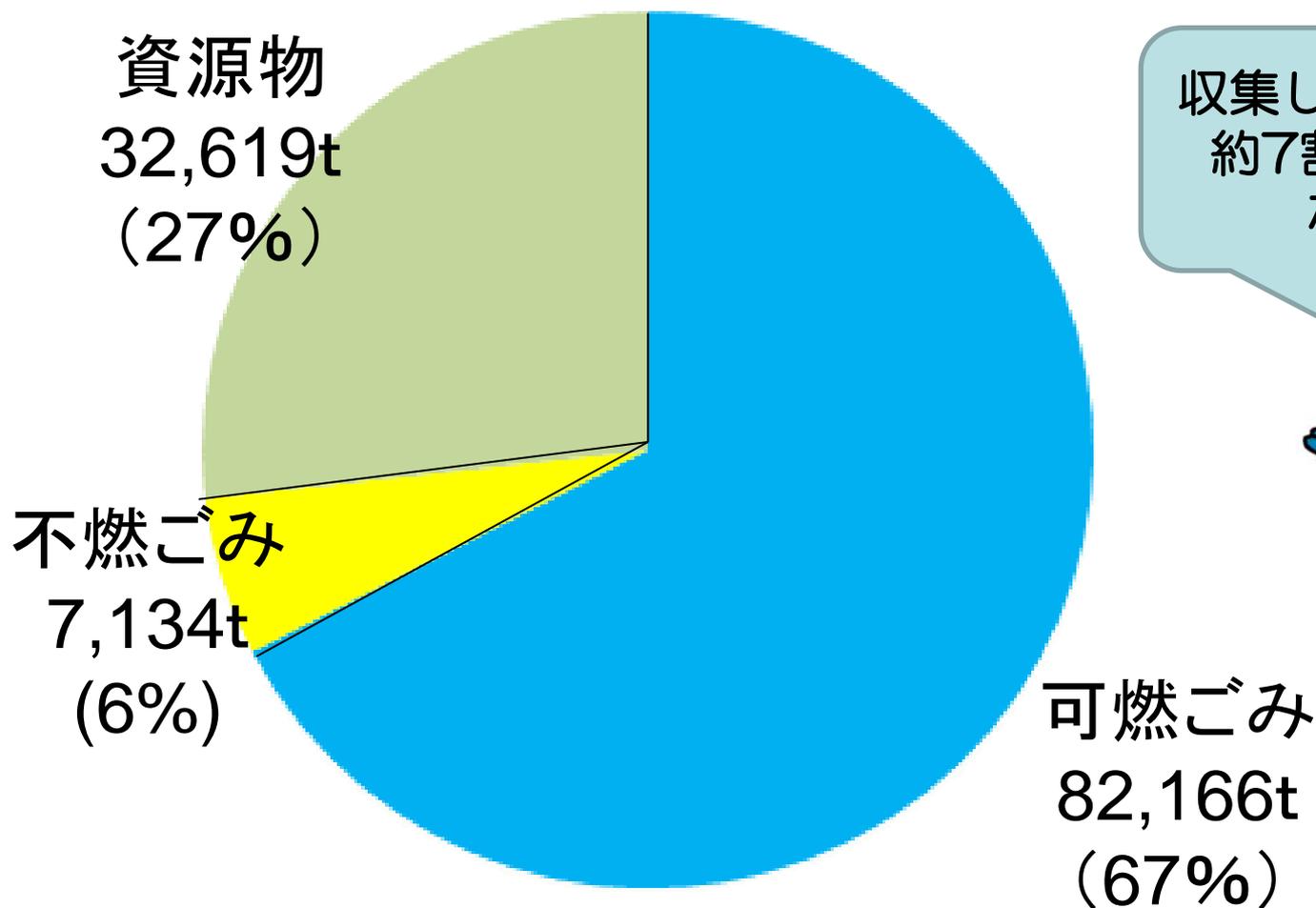
以前と比べると
ごみ量は減り、
資源物の量は
増えているね



- ・平成16年10月 「ごみの有料化」
可燃31%減、不燃23%減、資源81%増
- ・平成22年10月 「プラスチック資源化拡大」
不燃60%減、資源30%増

【環境省発表(平成24年度実績)】
ごみ排出量の少なさ 全国2位!
リサイクル率 全国3位!
※人口50万人以上の市町村

家庭系可燃・不燃ごみ、資源物収集量 (平成24年度)

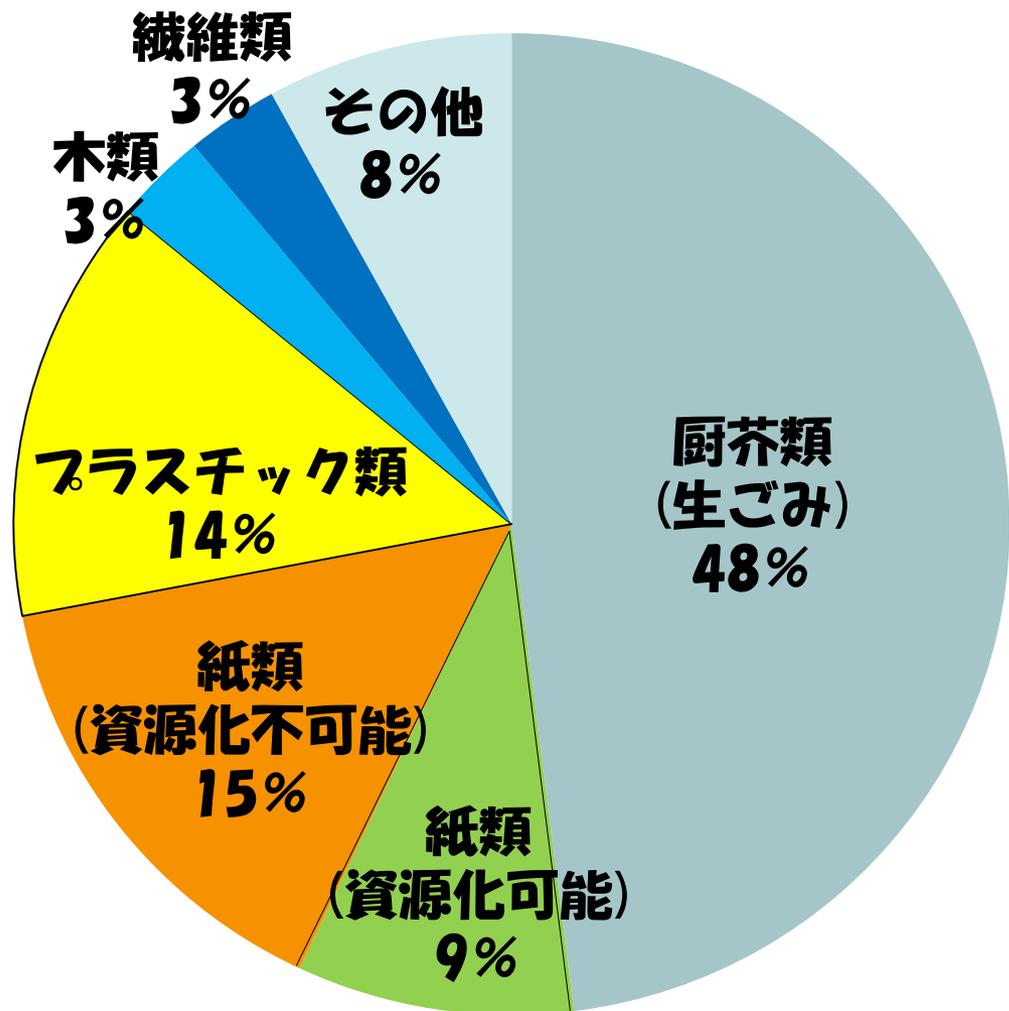


収集しているごみの
約7割が可燃ごみ
なんだね



可燃ごみの内容の割合

(平成24年度組成分析調査結果)



可燃ごみのうち、
約半分が生ごみ
なんだね！



- ※発生抑制の
ひとくふう
- ・ 買い過ぎない！
 - ・ 作り過ぎない！
 - ・ 食べ残さない！

循環都市八王子プラン

八王子市ごみ処理基本計画(平成25年度～34年度)

3つの重点取り組み

・ごみの減量・資源化に向けた意識の高揚と行動の促進

・生ごみの減量・資源化の地域特性に応じた取り組み

・ごみ処理の基盤となる処理施設の更新

10年後には『生ごみ資源化』に10パーセントの世帯が取り組んでいることを目指します。



平成23・24年度 生ごみ資源化モデル事業

家庭から出た生ごみを
民間処理施設でたい肥化



平成25年度からは
ダンボールコンポスト
に重点を置いた取り組みに！



市民の協力度は高かったが、
収集・処分に伴う
コスト（費用）が課題

一般向け ダンボールコンポスト講習会

初心者向け



経験者向け

(アフターフォロー)

地域活用モデル事業

説明会のようす



戸別訪問



校内活用モデル事業

児童が家庭から生ごみを
持ち寄り、たい肥化



投入量、温度、気づいたこと
を記録

学校農園にできたたい肥で
大根を育てる



収穫したダイコンは全児童
が一本ずつ持ち帰ったほか、
給食に利用

保護者向け説明会

地域活用モデル事業の一環

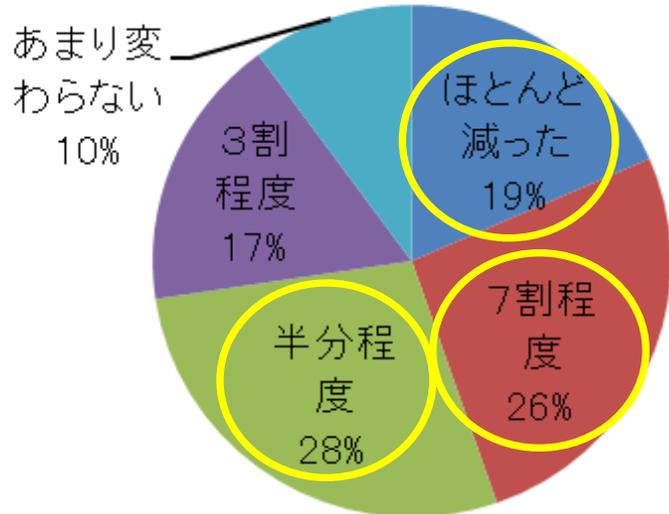


児童の代表が作文を発表

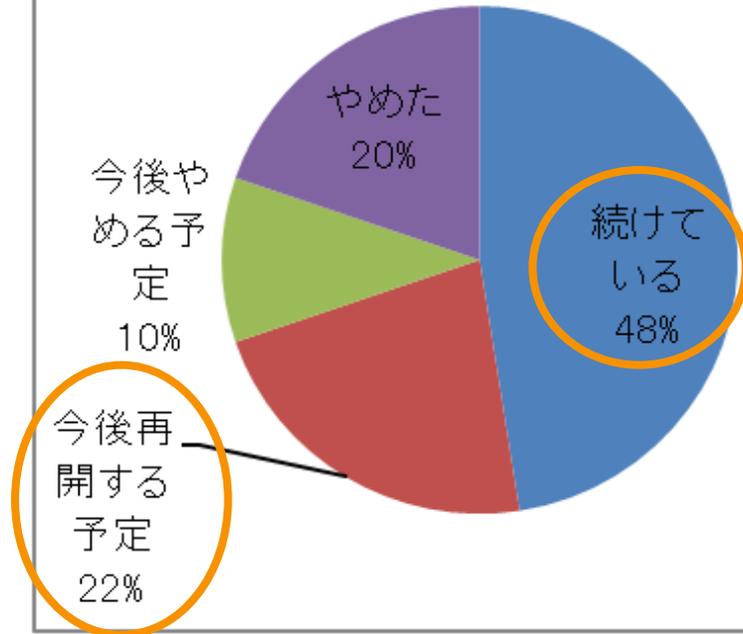
アンケート結果より

「生ごみ半分以上減った」
73%

ダンボールコンポストにより
どれくらい生ごみが
減りましたか？



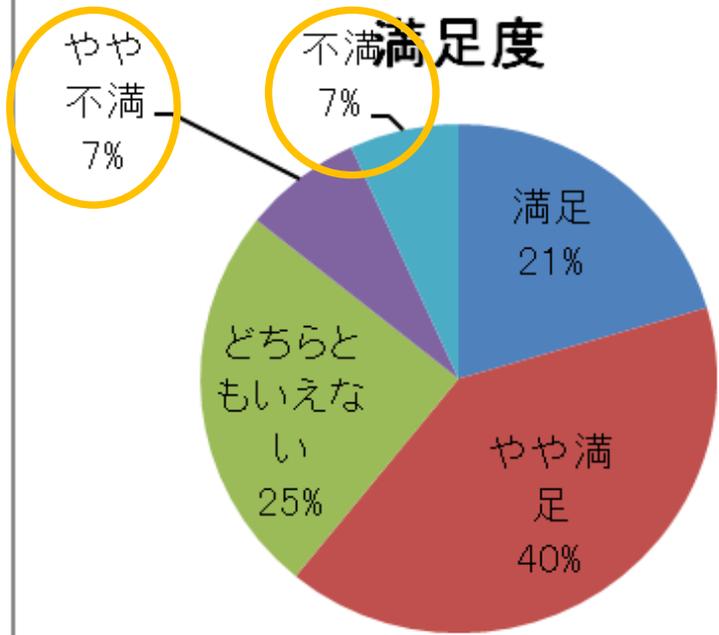
取り組み状況



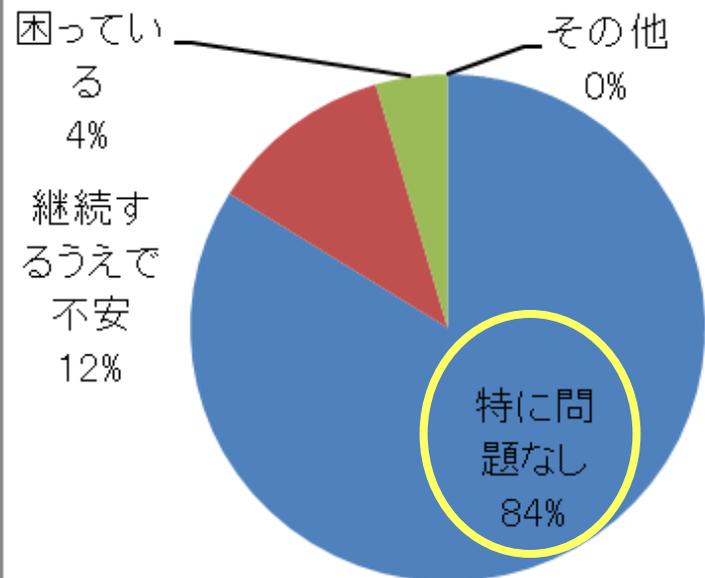
「続けている」「今後再開予定」
70%

「不満」「やや不満」
14%

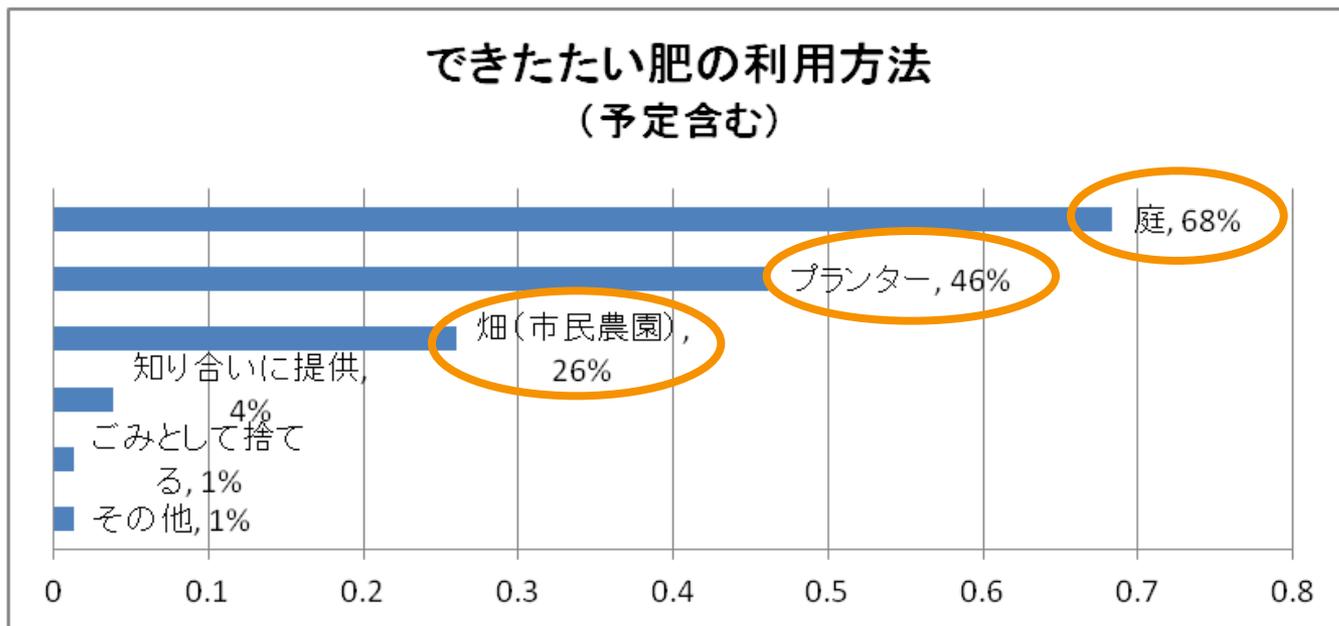
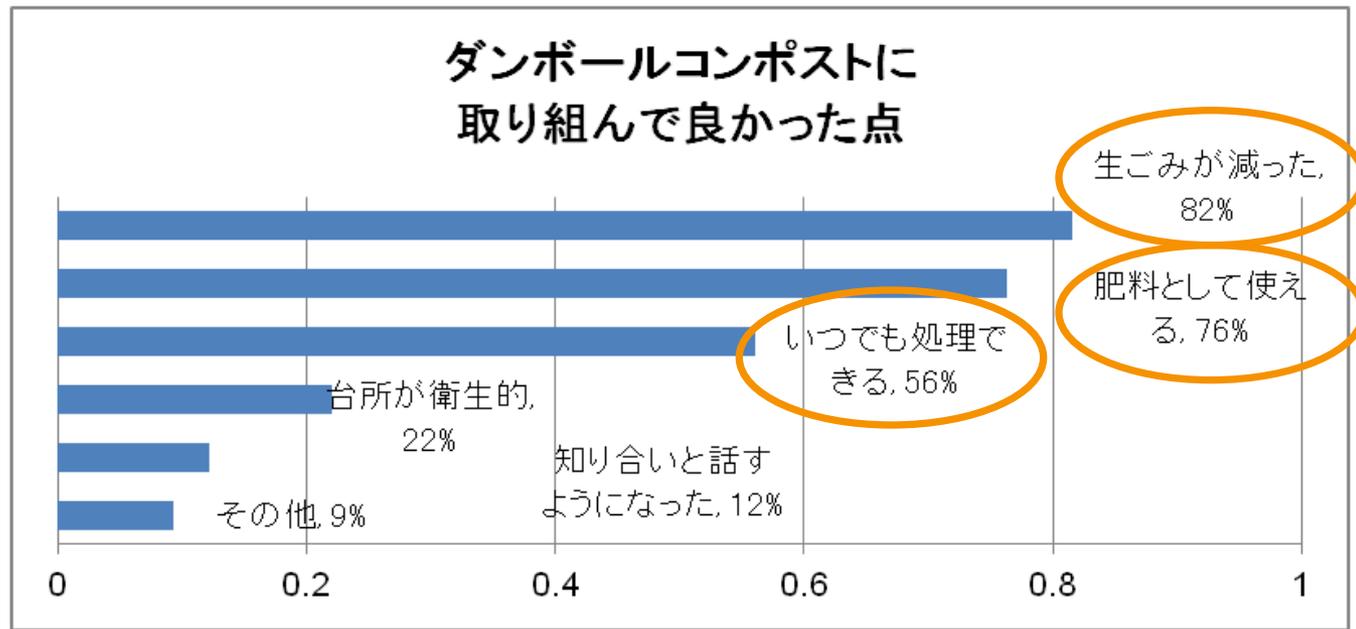
ダンボールコンポストの満足度



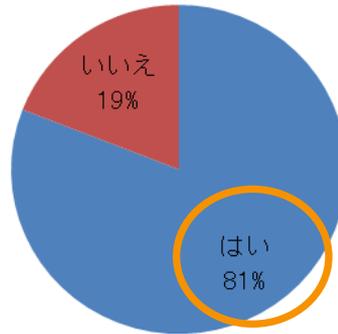
たい肥の活用場所



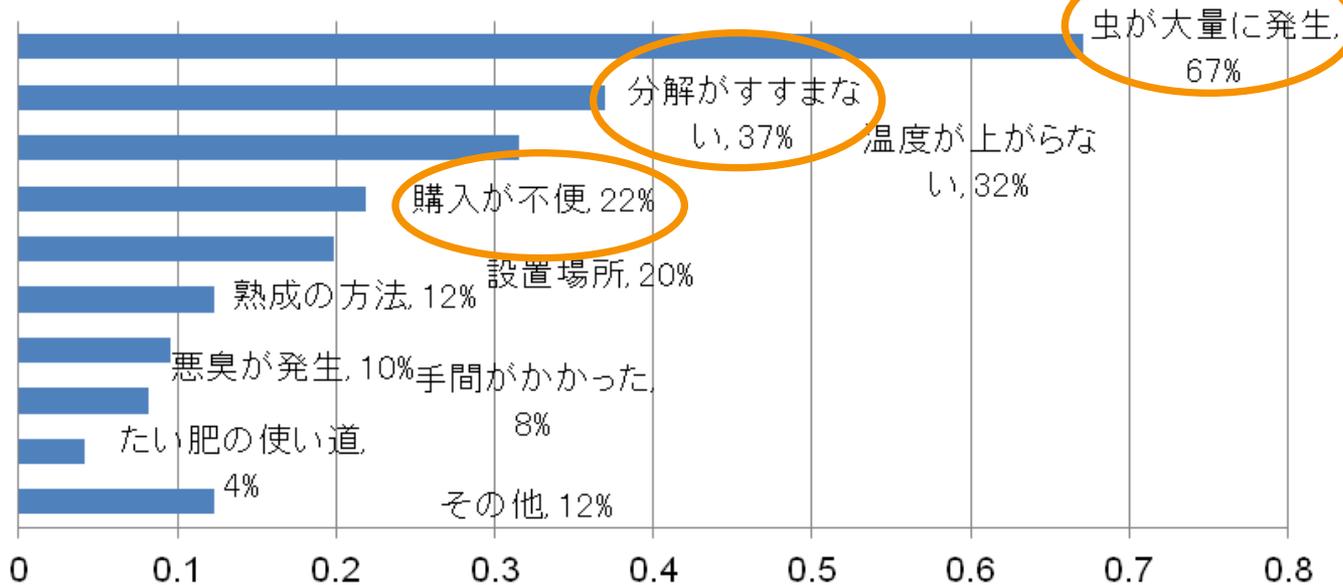
「特に問題なし」
84%



トラブルは発生しましたか？



トラブルのうち特に困ったこと



平成26年度の取り組み

◇市民と協働によるダンボールコンポストの推進

- (1) 相談窓口の開設（エコひろば）
- (2) ダンボールコンポスト入手方法の簡素化
- (3) 「生ごみリサイクルリーダー」による支援
- (4) たい肥の引き取り・地域活用

取り組まなければいけない課題

- (1) 地域への普及協力者の発掘
- (2) ダンボールコンポスト入手の簡素化
- (3) たい肥活用先の発掘